第61回卒業式 176名の巣立ち

本日十時より本校体育館にて、第61回卒業証書授与式が挙行される。式中では、生徒会長の濱頭 空良くんが在校生代表で送辞を述べ、機械科の杉本 蓮くんが卒業生代表で答辞を述べる。三年間の努力を重ね、未来へと歩みを進める卒業生に、在校生一同、精一杯のエールを届けたい。

滋賀県立八幡工業高等学校新聞部
TELL 0748-37-7227
印刷所　ひがし印刷
TELL 0748-46-2108

～ 目 次 ～

1面　クラス代表生徒の言葉
2・3面　3年間の思い出
4・5面　課題研究の成果
6面　お世話になった先生から

立派な社会人目指して
共に努力した三年間

「協調性のあるクラス」

三年一組　中根　健太

卒業を前に振り返ると毎日が楽しく成長する日々でした。私達一組は一人一人が個性的でまとまりがないクラスの様に思いますが、一組は大きな目標を見つけるとその目標に向かって協力し合える協調性のあるクラスでした。三年間同じクラスだったため、一年生、二年生と様々な行事を通して時間が経つほどに仲が深まり、みんな個性豊かで目標に向かって協力し合える協調性のある一組の姿になっていきました。

三年生になり、最後の八工祭では総合優勝するために、一致団結して取り組みました。パフォーマンスでは一人一人が意見を出し最高のパフォーマンスを作り上げることができました。

クラス全員で踊ることができ、より一層クラスの団結が高まりました。団リレーや綱引きの種目では、クラス全員が全力で応援し、どんな場面でもクラスのことを考え行動できるクラスになりました。

この三年間、たくさんの出来事がありましたが最後まで一生懸命、色々な事を教えて下さった保手濱先生にはとても感謝しています。

そして三年間関わってくださった先生方、ありがとうございました。

私は高校三年間一組として過ごせてとても幸せでした。一組のみんな本当にありがとう。

全力で楽しんだ三年間

三年三組　南　登陽

私たち三組は、一人一人が個性を発揮でき、三年間このクラスで過ごしたくさんのことを経験できて本当に楽しかったです。三年間を通して徐々にまとまりがあるクラスになり、三年の最後の八工祭では、一・二年をまとめながらも、自分たちのクラスがやりたいことを最大限にやりました。また、パフォーマンスや競技では、勝利にこだわって、クラス一丸となり、全力で取り組む姿は、最高でした。

そして、三年間担任の三浦先生にお世話になりました。どんな行事にも目標を持ち、全力で取り組むことで、最高の思い出を作ることができました。三年間支えていただき本当にありがとうございました。

これからそれぞれの道に進んで行きますが、このクラスでできた思い出を大切にし、学んだことを活かして、三組のメンバーがそれぞれの道で活躍できたら嬉しいです。私は、三組でたくさんのことを経験し、学べたことがとても嬉しいです。

三年間ありがとうございました。

「個性豊かで賑やか」

三年二組　川本　正太郎

三年間様々な行事を通して時間が経つほどクラスの中が深まり「個性豊かで、賑やか」な二組の姿ができあがりました。

行事では、自分は生徒会役員だったこともあり学校行事に参加できなかった時が多かったですが、遠くからみても二組のクラスメイト達は楽しそうであり、一人ひとりが、クラスを盛り上げるよう努力していたと私の目には映りました。

担任の板橋先生には三年間多くのご迷惑をかけてしましました。

提出物が出ていなかったり、クラスが騒がしかったりすると、怒って、私たちのためを思って動いてくださいました。進路のことでは時間が許す限り面倒を見て下さり、長年の経験からの的確なアドバイスで私達は進路選択に真剣に取り組めました。そんなクラスで学校生活を過ごしましたが、気づけばあっという間に卒業が間近に迫りました。個人的には会長の役を次の生徒会メンバーに託してから早く感じました。今のメンバーは優秀な人たちが多いため、とても信頼していて、僕たち以上の結果を出してくれるものと期待しています。

最後に二組のクラスメイトと切磋琢磨できて良かったです。

そしてこの二組を支えてくださった先生方ありがとうございました。

「思い出のクラス四組」

三年四組　肥髙　壮真

卒業を前にし、三年間を振り返ると、数えきれないほどの思い出が浮かび上がりました。

私たち四組は一人一人の個性が強く、入学当時は「このクラスで大丈夫なのかな？」と少し不安でした。ですがそんな不安も杞憂に終わり、今となっては最高のクラスだと胸を張って言えるクラスとなりました。

私が一番思い出に残っているのは八工祭です。一年の頃は、クラス一丸となって力を合わせて行う八工祭に、少しぎこちなさを感じていました。

しかし、最後の年となった三年生の八工祭ではそのぎこちなさも感じず、クラスで協力し合い、わからない人や、後輩にコツを教えたり、優しく手解きをしている姿が見られました。順位的には一位には及びませんでしたが、順位よりも、学年関係なく団全員で協力し、努力して取り組むと言う大いに価値のある姿を見られたので良い思い出になりました。

卒業後は各々別の道を過ごすことになりますが、どこかで会った時は思い出話に花を咲かせれたらなと思っています。この三年間本当にありがとうございました。

「魑魅魍魎」

三年五組　寺田　大倭

三年五組このクラスは色々な意味で個性豊かです。

このクラスを一言で表すなら「魑魅魍魎」。そう、とんでもない人たちの集団でした。実習の実験中にずっとふざけている人や、休み時間に大声ではしゃいでいる人など、とにかくはちゃめちゃなことが多くありました。

もちろん全員がこのような訳ではありませんが、とにかくとんでもない人が他のクラスに比べて圧倒的に多いと思います。しかし、良いところもあります。

それは「やる時はやる」というところです。

高校三年生の八工祭では普段おちゃらけている人も無気力な人もみんなが先輩として後輩たちを導き、勝利の為に一丸となっていました。一年生の頃と比較するとその姿には確かな人間としての成長を感じました。このように私たちが成長できたのは、常に生徒の為を思い指導してくださった先生方や三年間高校に通わせてくれた家族、そして何よりどんなに辛いことがあろうと三年間頑張ってきた私たち自身だと思います。

この先の道はみんなそれぞれ違いますが、この八幡工業高校で学んだことを胸に刻み、自分たちの未来へ歩んでいきたいと思います。